

# 船舶事故等調査報告書（軽微）

1	船舶事故	計	34件
2	船舶インシデント	計	8件
		合 計	42件

平成23年7月29日

運輸安全委員会

## 船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

### （函館事務所）

- 1 水上オートバイ M J - X L  
1 2 0 0 L T D 水上オートバイ  
7 6 0 R Z 衝突
- 2 貨物船 DAMANT A 沈没

### （横浜事務所）

- 3 漁船第三十三幸漁丸運航不能（機  
関損傷）
- 4 貨物船 ZHONG HUI 乗揚
- 5 ヨットしおかぜVIペンゴ運航阻害
- 6 モーターボート新洋丸運航阻害
- 7 油タンカー第八富士宮丸衝突（橋  
桁）
- 8 モーターボートまんぼう運航不能  
（舵故障）
- 9 モーターボート J e t F i n の  
り養殖施設損傷
- 10 石灰石運搬船拓洋丸漁船海星丸衝  
突

### （神戸事務所）

- 11 練習船海王丸引船らいちょう衝突
- 12 液化ガスばら積船菱英丸ケミカル  
タンカーYEOSU PIONEER NO.3 衝突
- 13 貨物船第一摂津丸衝突（岸壁）
- 14 貨物船第三十六親力丸乗揚

### （広島事務所）

- 15 漁船誠英丸モーターボート第2大  
和丸衝突
- 16 漁船海幸丸転覆

- 17 漁船鍛丸潜水者負傷
- 18 漁船中出丸漁船共進丸衝突
- 19 漁船第二千鳥丸運航不能（機関損  
傷）
- 20 旅客船共栄丸運航阻害
- 21 貨物船 FORTUNE WING 引船第二十  
五洞海丸台船K 2 0 0 2 衝突
- 22 モーターボート第二ジェイソン丸  
乗揚
- 23 ケミカルタンカー万栄丸ケミカル  
タンカー第十七恭海丸衝突
- 24 押船第八勘成丸はしけ第八勘成号  
乗揚
- 25 貨物船鐵笠丸灯浮標損傷
- 26 貨物船第二 三栄丸衝突（岸壁）
- 27 押船早鞆丸バージようこう乗揚
- 28 旅客船ニュー豊予衝突（棧橋）
- 29 漁船大福丸定置網損傷
- 30 遊漁船第五金宝丸モーターボート  
征優丸衝突
- 31 漁船松孝丸乗揚

### （門司事務所）

- 32 貨物船灘吉丸乗揚
- 33 貨物船正鳳丸漁船 3 0 2 TAE  
CHUNG 衝突
- 34 漁船第八しんこう丸乗揚
- 35 貨物船第二鈴鹿丸乗揚
- 36 貨物船 FU YUAN 浮ドック臥蛇II 衝  
突
- 37 貨物船盛輝 2 1 乗揚
- 38 プレジャーモーターボート  
Eternal Virtue II 海苔網損傷

(長崎事務所)

- 39 貨物船新星丸乗揚
- 40 砂利運搬船高洲川丸乗揚

(那覇事務所)

- 41 プレジャーボート飛鳥Ⅱ運航阻害
- 42 旅客船リゾート・アイランド・カ  
ヤマ運航阻害

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第23号	
事故等種類	のり養殖施設損傷	
発生日時	平成23年1月26日（水） 11時10分ごろ	
発生場所	千葉県富津市富津漁港北西方沖 富津北灯標から真方位305° 2,500m付近 (概位 北緯35° 20.2′ 東経139° 47.4′)	
事故等調査の経過	平成23年1月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート <small>ジェットフィン</small> Jet Fin、5トン未満（長さ7.14m）	
船舶番号、船舶所有者等	230-19339神奈川、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	本船 二重反転式推進器前翼に曲損及び後翼に折損（翼数各3枚） 施設 のり養殖施設2棚損傷（1棚の長さ約40m、幅約12m）	
事故等の経過	本船は、船長が同乗者2人を乗せ、富津漁港北西方沖を南西進中、平成22年1月26日11時10分ごろ、のり養殖施設に進入して機関が停止し、同施設に損傷を与えた。 本船は、推進器にのり養殖施設の網が絡網して航行不能になり、海上保安庁に通報し、漁船によって救助され、富津漁港にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好 海象：波高 約1m	
その他の事項	船長は、本船を購入したばかりであり、前の所有者が係留していた浦安のマリーナから平塚のマリーナに本船を回航していたが、東京湾内を航行したのは初めてであった。 本船は、操縦室窓のワイパーが故障しており、波しぶきにより前方が見えにくい状態だった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、富津漁港北西方沖を南西進中、船長が、適切な見張りを行っていなかったことから、のり養殖施設の存在に気付かず、同施設に進入したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、富津漁港北西方沖を南西進中、船長が、適切な見張りを行っていなかったため、のり養殖施設の存在に気付かず、同施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	